

(別紙)

松江市立病院広報誌作成（全面リニューアル）業務委託プロポーザル 企画提案書 提案課題（作成要領）

本プロポーザルに参加する事業者は、以下の項目1～5について企画提案書を作成してください。（提案書はA4サイズ10ページ以内とする。また、添付資料（実物大の誌面デザイン案など）を付す場合は、別途6ページまでとする。）

記載内容は、プロポーザル実施要領及び仕様書の趣旨・目的に沿い、広報誌の質向上と、病院職員及び自治会役員（自治会回覧）の負担軽減の両立を目指すものとします。

提案書の構成は自由ですが、項目1～5の内容が分かるように記載してください。項目内の各ポイントは例示であり、すべてを記載・提示する必要はありません。提案者が重視するポイントについて簡潔にまとめてください。

【参考】

令和7年度発行の状況

「田和山だより」 A4サイズ、8ページ×年4回（7月、10月、1月、4月）、各号8,100部発行
毎号配布・回覧先

○自治会回覧（市内約950自治会、6,400部）

※当院から各地区事務局（29か所）へ配送後、各自治会役員によって自治会内で回覧。

※自治会役員負担の軽減は松江市の重要課題であるため、自治会回覧を行う場合の発行回数や年間総ページ数を増やすことは認めない。

※印刷物の表紙上部に「回覧」と表記する必要あり。

○院内配架（外来・病棟等20か所、750部）、医師会・医療機関送付（340機関、350部）、市関係施設配架（市役所、支所、公民館、市民活動センター、イオン行政情報コーナー等200部）、市民公開講座参加者配布（100部）、職員退職者会員送付（160部）、その他

過去の広報誌「田和山だより」内容

当院ホームページに掲載 <https://www.matsue-cityhospital.jp/about/pr-magazine/>

1. リニューアルの基本方針・コンセプト

- 広報誌をどのように改善し、どのような価値を提供するか
- 読者（地域住民・患者さん・紹介元医療機関等）に伝えたい方向性
- 病院の理念や地域医療の役割を誌面にどう反映するか
- 年間総ページ数・発行回数を昨年度と同程度以下に抑えつつ、内容を拡充する考え方

2. 企画・誌面構成案・デザインイメージ

- 過去1年間の広報誌の掲載記事（一部）を例に再構成した企画案・デザイン案

- 表紙・誌面のデザインイメージ（ラフ案・モックアップ可）
- 主要な企画・コーナーの構成案
- 写真・図表・レイアウトなど、読みやすさ・伝わりやすさを高める工夫
- 読者に配慮したフォント・色使い・余白設計
- 病院のブランドイメージ向上につながる表現の工夫
- Web サイト、SNS、その他広報媒体への効果的な展開案

※完成度は問いませんが、方向性が分かる説明、イメージ等の資料を推奨します。

※現在の広報誌タイトル「田和山だより」は変更する予定です。必須ではありませんが、提案のコンセプト・内容に沿った新たな広報誌タイトルを提案していただいても構いません。（タイトルの最終決定は当院で行います。）

3. 年間の発行計画

- 今年度発行内容の提案（内容、ページ数、発行回数等）

※今年度の発行（当院からの公表、配布）は令和8年8月から令和9年4月の間とします（受託者からの納品は3月末日までに完了する）。

※自治会回覧を行う場合の回数及び総ページ数が昨年度と同程度以下であれば、各号のページ数や回数は自由（自治会回覧を行わない場合と組み合わせてもよい）です。ただし、発行、配送、掲載等の費用が増大する内容や方法は認めません。

- その構成にした理由（内容の充実、読みやすさ、負担軽減など）
- 自治会回覧の負担を増やさない工夫

4. 制作スケジュール、制作体制・役割分担

- 年間の制作スケジュールのイメージ
- 病院側と事業者側の作業分担の考え方
- 病院側の確認・校正作業の負担を軽減する工夫
- 撮影の進め方（病院業務への配慮など）
- 企画・原稿作成支援の範囲
- 校正・確認の効率化に関する提案

※スケジュールは詳細な日付までは不要。実現性が分かるレベルで記載。

5. 類似・同種業務の実績

- 医療機関・自治体・その他の広報誌・広告などの制作実績
- デザイン・誌面サンプル（PDF・画像など）
- 担当範囲（企画、デザイン、撮影、編集、印刷など）
- 特に工夫した点や成果があれば記載

※見せられる範囲での添付で構いません。